



2011年2月18日

トヨタコレクション企画展  
江戸職人が魅せる なるほどメカニズム  
～ ゼンマイ・バネ・オモリ ～  
開催のお知らせ

トヨタグループ13社が共同で運営する トヨタテクノミュージアム 産業技術記念館(名古屋市西区則武新町)では、3月25日(金)から5月8日(日)まで、トヨタコレクション企画展「江戸職人が魅せるなるほどメカニズム ～ゼンマイ・バネ・オモリ～」を開催します。

【企画展概要】

「トヨタコレクション」は、日本のモノづくりの源流ともいえる、主に江戸時代中期～明治時代初期の様々な分野(「からくり」、「測量・天文」、「銃・大砲」、「医療」、「絵画・書画」、「工芸」、「生活」等)にわたる貴重な科学技術資料です。

今回はこれらの資料の中から、動力源が限られていた江戸時代における、ゼンマイ・バネ・重りを活用した和時計、灯火具、からくり人形などをご紹介します。

【期間】 2011年3月25日(金)～5月8日(日)

【場所】 産業技術記念館 特別展示室

【内容】 ・重りを活用したもの：  
櫓(やぐら)時計、台時計、尺時計、小方儀、段返り人形 など  
・ゼンマイ・バネを活用したもの：  
無尽灯(奥村菅次系統)、弓曳童子(田中久重作)、諫鼓鶏(かんこどり)時計 など

展示品によっては、しくみ図やX線写真などを用いて解説

展示総数 22点(予定)(主な展示品の詳細は別紙をご参照ください)

《関連イベント： からくり実演》

段返り人形、茶運び人形などの実演を行います。 実演のからくり人形は近年の作品  
〔期間中の土・日・祝日：1日3回(11:10、13:30、15:50 予定)、20分程度〕

【料金】 当館の入場券(常設展)でご覧いただけます。  
大人 500円、 中・高生 300円、 小学生 200円  
(春休み期間 3月25日(金)～4月5日(火)は小・中学生入場無料)  
65歳以上 無料、 団体割引あり

なお、春休み期間中の3月25日(金)から4月5日(火)は、

- (1) 小・中学生は入場無料
- (2) 自動車館「わくわく体験コーナー」でAA型ゴム駆動車づくりが毎日無料で体験できます。(通常は、土日祝日のみ)



以上

## 【産業技術記念館のご案内】

産業技術記念館は、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、次の世代を担う若い人々をはじめ、広く社会にお伝えし、社会の健全な発展に役立てていただくことを目的としてトヨタグループ13社の共同事業により設立、豊田喜一郎の生誕100周年を記念して1994年6月11日に開館しました。2009年4月29日には入館者250万人を達成し、2010年6月、開館16周年を迎えました。

実物本位で分かりやすく展示し、製造に必要な技能を実演や展示物を動かして説明する「動態展示」ほか関連技術・研究開発も合わせて紹介しています。

(1) 所在地： 名古屋市西区則武新町4-1-35  
TEL：052-551-6115  
FAX：052-551-6199

(2) 開館時間： 9：30～17：00（常設展示場への入場は16:30まで）  
\* 休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）

(3) 入場料： 大人 500円、 中・高生 300円、 小学生 200円  
65歳以上 無料、 団体割引あり

(4) ホームページ： <http://www.tcmit.org>

---

<お問い合わせ> 広報・営業室 成田、遠藤、加藤  
TEL：052-551-6111 / FAX：052-551-6199  
画像提供連絡先 E mail: c.kato@tcmit.org

---

・企画展示：江戸時代中期～明治時代初期の和時計、灯火具、からくり人形など【22点】

動力	主な展示物・資料		
重り	檜(やぐら)時計 台時計	江戸時代中期 江戸時代後期	重りを動力にしたもので、時計針は、1日で1回転します。2つの天符式调速機構によって、昼と夜の単位時間の長さが自動的に切り替るように工夫されています。時報や目覚まし機構(タイマー)も付いています。
	尺時計	江戸時代後期	重りの降りる位置の目盛りを読み、時刻を知る時計です。機構も簡単で最も普及した和時計でした。
	小方儀	江戸時代後期	小型の磁石による方位測定器です。盤面下部に重りをつけて、盤面が常に水平になるように工夫されています。
	段返り人形	江戸時代後期	とんぼ返りをしながら、階段を降りていくからくり人形です。人形の内部に水銀が入っていて、重心移動でバランスを変化させながら一段ずつ階段を降りていきます。
ゼンマイ・バネ	無尽灯(奥村菅次系統)	江戸時代後期	内部に仕掛けたコイルバネの力で、油槽内部の圧力を高め、油を押し上げる仕組みの灯火具です。
	弓曳童子(田中久重作)	幕末	矢台の4本の矢を次々に弓につがえ、的に向かって射ります。動力に真鍮製のゼンマイを使い、人形の動きは7枚のカムに連動する糸によって行われます。
	諫鼓鶏(かんこどり)時計	幕末～明治時代初期	ゼンマイ式で文字盤の窓内に、日付、潮の満ち引きの時刻、月の満ち欠けが表示されるようになっています。現在の時刻を示す機能をもたない珍しい時計です。

・様々な分野展示：主に明治・大正時代の「計測器」、「生活道具」、「通信機」、「工芸品」など【28点】

気圧計、寒暖計、うちわ扇風機、手回し扇風機、トースター、鉱石ラジオ、デルビル卓上電話機、モールス電信機、開化皿 など

以上

トヨタコレクション企画展  
江戸職人が魅せる なるほどメカニズム  
～ゼンマイ・バネ・オモリ～

## ご提供可能な画像リスト

### 【重りを活用したもの】



1. 櫓（やぐら）  
時計



2. 台時計



3. 尺時計



4. 小方儀



5. 段返り人形

### 【ゼンマイ・バネを活用したもの】



6. 無尽灯  
(奥村菅次系統)



7. 弓曳童子  
(田中久重作)



8. 諫鼓鶏  
(かんこどり)時計

<お問い合わせ>

広報・営業室 成田、遠藤、加藤

TEL: 052-551-6111 / FAX: 052-551-6199

画像提供連絡先

E mail: c.kato@tcmit.org